

## 第24回東北少年フェンシング大会開催要項

- 主催 東北フェンシング連盟  
主管 宮城県フェンシング協会  
後援 (公社) 日本フェンシング協会・仙台市・宮城県高体連フェンシング部  
期日 平成26年3月29日(土)～30日(日)

29日(土)		30日(日)	
練習会場	9:00～試合終了	練習会場	8:00～試合終了
技術委員会	11:00～11:20	競技	9:00～14:00
監督会議	11:30～12:20	閉会式	14:30～15:00
競技	13:00～17:30		

- 会場 宮城野体育館  
宮城県仙台市宮城野区新田東四丁目1番1号  
TEL 022-231-1221 FAX 022-231-1230  
※駐車場はありますが、有料で台数に限りがありますのでご注意ください。

- 種目 フルーレ個人戦

- 種別 小学校男子A(小学新5～6年)、小学校女子A(小学新5～6年)、  
小学校男子B(小学新3～4年)、小学校女子B(小学新3～4年)、  
小学校男子C(小学新1～2年)、小学校女子C(小学新1～2年)、  
中学校男子、中学校女子  
※人数により男女混合の場合があります。

- 参加資格 (1) 平成25年度事業としての扱いであるが、エントリーについては小学生は  
新1年生以上で中学生も新学年でのエントリーとする。  
(2) 選手、監督とも平成25年度、26年度日本フェンシング協会登録会員であること。  
(3) 選手の保護者及び所属学校長に承諾を得た者。  
(4) 新4年生が5～6年の部に出場することは認める。

- 監督等 監督は1種別につき一人とし、監督代行は各種別ごとに次のとおりとする。

選手の数	1人	2人～5人	6人以上
監督代行	認めない	1人	2人

- 表彰 第8位までに賞状、第3位(2人)までにメダルを授与する。

- 参加申込 3月3日(月)までに参加料を下記銀行口座に振り込むとともに、別紙申込書  
に必要事項を記入の上、電子メールで下記宛申し込むこと(必着)。なお、  
申込書の電子ファイルは、日本フェンシング協会HPよりダウンロードしてください。

- (1) 参加料振込先銀行口座

仙台銀行 普通預金 0001239 (荒町支店)

第24回東北少年フェンシング大会 実行委員会 委員長 菅野定行

(2) 参加申込書送信先

電子メール：[kano988@yahoo.co.jp](mailto:kano988@yahoo.co.jp)

宮城県フェンシング協会育成委員会 狩野 諭あて

(3) 問合せ先：〒981-0133 宮城県宮城郡利府町青葉台1-1-1 利府高校内

宮城県フェンシング協会事務局

熊谷 裕子 022-356-3111

参加料 1人3,000円(申込後は返還しない。)

宿泊 各自で手配してください。

競技方法 別紙競技方法による。ただし参加人数により変更する場合がある。

注意事項

(1) 規定のユニフォーム、プロテクターを着用すること。

(中学生)

- ・ユニホォーム上下350N
- ・F.I.E 公認マーク付き半袖付プロテクター800N
- ・F.I.E 公認マーク付きメタルビブ付マスク1600N

日本フェンシング協会より下記の内容の通達があり

「平成25年度全国少年フェンシング大会個人戦及び全国少年フェンシング大会団体戦において、中学生フルレマスクのメタルビブ着用を義務付ける。」

※今回の大会も適用いたします。

(小学生)

- ・F.I.E 公認マーク付き半袖付プロテクター800N

(2) マスクは、後部脱落防止のついたものを使用すること。電導ビブは採用しない。

(3) ストッキングは肌を露出しない長めで厚手のものを着用すること。

(4) ゼッケンは、名前、所属を縦15cm 横20cm の白布に明瞭に書き、後ろ大腿部につけること。

用具検査 (1) 混雑緩和のため用具検査は行わない。ただし、別記事項に沿って剣・用具等は各自チェックした上で持参すること。

(2) 検査は、試合前にピスト上で審判が行い、ルールに適合しない用具等がある場合には、罰則を適用する。

障害保険 各所属において、選手全員が傷害保険に加入すること。

その他 (1) 中学生男女3位(4名)まで第22回JOCオリンピックカップに推薦する。

(2) 審判員の確保が困難なため、引率の指導者の中から審判員に依頼することがある。

## 《 競 技 方 法 》

- 試合規則 国際フェンシング連盟試合規則（改正部分は、できる限り最新のものを）を準用する。  
なお、一部については、（社）日本フェンシング協会の定める試合規則及び全国少年大会のルールを適用する。
- 試合方法 1回のプール戦とエリミナシオンディレクトの混合方式とする。  
(1) 1回戦は、1プール5～6人とし、全試合行う。  
(2) エリミナシオンディレクト進出選手は、参加選手50名を超えた種別について1回戦の結果上位70%とする。  
(3) シードにおける順位は、1回戦の結果（バラージュの結果はこれに含めない。）により、下記の要領で決定する。  
①勝率 高い方を上位とする。  
②指数（TD/TRの高い方を上位とする）  
③突数（TD/Mの高い方を上位とする。）  
④抽選（ただし、エリミナシオンディレクト出場の最下位選手が複数の場合は、バラージュ）  
※参加人数により種別及び競技方法が変更になる場合があります。  
その他詳細は、技術委員会の指示による。
- 組 合 せ (1) プール戦は当年度全国少年大会のベスト8、前年度東北少年大会のベスト8のシード、同県、同所属内シードを考慮する。  
(2) エリミナシオンディレクトは、1回戦の結果により組み合わせを行い、所属については一切考慮しないものとする。 ※組み合わせは当日発表
- 試 合 (1) プール戦 3分間（実働）5本勝負  
(2) エリミナシオンディレクト 3分間（実働）×2回、10本勝負（マッチ間の休憩は、1分）  
(3) エリミナシオンディレクト出場の人数は、参加人数により技術委員会が決定する。  
(4) すべての試合において、試合時間が終了した場合には試合終了時点のスコアをそのまま記録し、勝者にはVを、敗者には突数のみを記す。同点で試合時間が終了した場合には、優先権を決定するための抽選を行い、1分間1本勝負の延長戦を行う。1本先取で勝敗が決した場合は、延長戦前のスコア（同点）に1本加算するものとする。ただし、同点で延長戦の時間が終了した場合は延長戦前のスコア（同点）に優先権のある選手にVを付すものとする。
- コール 原則として当該種別の試合時間30分前とするが、試合時間が早まる場合があるので、試合開始予定時間の1時間前には、会場で待機するものとする

## 《 用 具 検 査 》

混雑緩和のため、用具検査は行わない。ただし、下記事項に沿って、剣・用具等は、各所属ごとにチェックした上で持参すること。検査は、試合前に審判がピスト上でチェックし、ルールに適合しない用具等があれば、罰則を適用する。

また、特に円滑な運営を図るため、下記について十分整備しておくこと。

- マスク 縫い目の腐食と絶縁不良、12kgの耐圧強度、縫い目のほころびと腐食、脱落防止用安全バンドの装着
- 剣 (※ピスト脇に予備を準備のこと。)  
剣身のさび、ガードの変形、剣先の絶縁テープ15cm、ポイントの圧力500g以上、ソケットの脱落防止安全装置等。
- ボディーワイヤー (※ピスト脇に予備を準備のこと。)  
わにぐちクリップの幅1cm以上、配線40cm以上で接続ハンダ付け（絶縁しない）されている等。
- メタルジャケット  
試合開始前のテストで、破れ、縫い目のほころび、襟の酸化（サビ）等で白いランプの表示が出ないこと。